

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	連節車両車体調査検討業務
発注課	まちづくり政策局総合交通計画部公共交通システム担当課
選定事業者	株式会社東京アールアンドデー
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。） 2030年の本格運行を目指して検討を進めている「新たな公共交通システム」では、人を引き付ける魅力的なまちづくりに資するために、デザイン性に優れた連節型車両の導入を想定している。さらには、水素社会の実現に向けた取組として、当該車両は燃料電池車（以下、「FCV」という。）としたい考えである。 一方、現時点では日本国内向け連節型のFCVは存在しないことから、既存の国産連節バス（ディーゼルハイブリッド車）をベースとした車両改造（架装変更及び動力装置の置き換え）の可能性について検討しているところ。 当該検討には車体図面等のデータが必須となることから車両メーカーと協議を重ねてきたが、情報資産として提供できないと見解を示されたことから、別途、独自の調査が必要となっている。 そのため、本業務は、車両改造の検討に資する既存連節バスの調査検討として、車体の3D計測や電子制御情報に係る調査と、調査結果に基づく技術検討等を行うものである。 業務履行に当たっては、大型バスのFCV化等の車両改造に対する深い知見と実績を有する事業者であることが不可欠であり、国産大型バスの電動化※の実績があり、かつ、国産小型バスのFCV化の実績を有するのは国内では同社のみである。 （※FCVは電気自動車と駆動装置が同様であり、FCV化を検討するうえで電動化は必要不可欠な知見。） 以上の事由により、本契約の相手方を当該事業者に特定する。	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号
決定日	令和7年9月16日